

第42回

# 宇短大祭

*One For All  
All For One*

仲間とつくる友情の1ページ

11月15日(土)・16日(日)

午前10:00～午後4:00

## 青島 広志氏 おしゃべりコンサート

音楽とおしゃべりでつづる

「舞台音楽408年史」

15日(土)14:00 開演

共演 小野 勉氏(テノール)

## 地域福祉開発センター 公開講座

スウェーデンの福祉事情

～自立ケアの観点から～

ヨアキム カウト 先生

(スウェーデン・クオリティケア所長)

16日(日)11:00～12:30



## 宇都宮短期大学

音楽科・人間福祉学科

〒321-0346 宇都宮市下荒針町長坂3829  
TEL. 028-648-2331 FAX. 028-648-9870  
<http://www.ujc.ac.jp>



## ■ごあいさつ



宇都宮短期大学長

須賀英之

秋の紅葉が鮮やかな宇都宮短期大学キャンパスに、ご多忙のところ、またご遠方からお越しくださいませ、誠に有難うございます。昨年、本学はお陰さまで創立40周年を迎えることが出来ました。これはひとえに教育関係者の皆さま、そして、卒業生や保護者・地域の皆さまのご支援とご理解のたまものと教職員一同、感謝いたしております。今年は昨年にも増して、学生たちの熱気があふれておりますので、活気ある催しが各会場で展開されることと期待しております。

今年の「宇短大祭」のテーマは、学生の発案により「One for All All for One」(副題～仲間とつくる友情の1ページ～)が選ばれました。これは本来ラグビー用語ですが、「個々の力を結集して大きなエネルギーをもって、青春の熱き1ページをみんなで形づくろう」とのことだそうです。学生諸君には、この宇短大祭が文字通り「熱き青春の1ページ」となって心に刻まれるよう、精いっぱい励んで下さるようお願いいたします。

さて、主な催し物については、まず「世界一受けたい授業」や「題名のない音楽会」で著名な青島広志氏のおしゃべりコンサート「舞台音楽408年史」(15日)ががございます。とかく堅苦しいといわれるクラシック音楽ですが、ユーモアとエピソードを交えての誰にでも楽しめるコンサートになると思います。また公開講座は、ヨアキム・カウト先生(スウェーデン・クオリティケア日本支社社長)をお招きしての「スウェーデンの福祉事情～自立ケアの観点から～」(16日)です。日本では昨今、高齢者の医療や福祉の制度改編で揺れておりますが、講座はこの課題解決への大きな指針となるに違いありません。

このほか、音楽科の教員や学生たちによる演奏会、人間福祉学科による各種の研究発表や作品展示、さらに附属高校の生徒の皆さんの学内演奏会やファッションショーなど、多彩な催し物が用意されております。

本学園の教育理念である「全人教育」のもと、本学では人間性豊かな個性と卓越した専門技術の習得を目指して、教員と学生が一体となって日々励んでおります。ご来学の皆さまには、こうした学生たちの日ごろの努力の成果をご覧いただき、本学に対するご理解をいっそう深めて頂ければ幸いです。



## 実行委員のあいさつ

■音楽科実行委員長 藤栄 建吾

■人間福祉学科実行委員長 安島 美樹

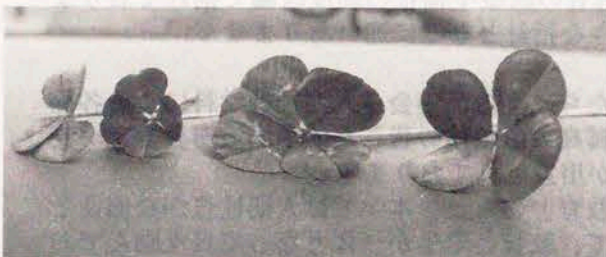
日一日と木々の葉も色づき、寒さと共に秋が深まり、また今年も宇短大祭を迎えることができました。

さて、昨年は創立40周年記念の盛大な大学祭でしたが、今年もより充実したものを目指して、音楽科・人間福祉学科の両実行委員会のメンバーは一生懸命頑張ってきました。2年生を中心に、まだ学校に入学して半年足らずの1年生を率いて、大学祭を成功させるために一丸となって様々なイベントを準備してきました。準備をするにあたっては、思い通りに行かず悩んだり苦しい思いもしましたが、仲間たちと協力し合い実りのあるものに作り上げることができました。

今年のテーマは、「One For All, All For One ～仲間とつくる友情の1ページ～」です。仲間たちと協力し、友情を育むことができたこの大学祭、私たちの友情に新たな1ページが加わりました。これからの学校生活においても、そして社会に出てからも、宇短大祭で学んだ数多くのことを生かしながら生活していきたいと思います。

最後になりましたが、ご支援して下さった学長先生をはじめとする諸先生方、事務局の方々、音楽科自治会、人間福祉学科大学祭実行委員・学友会、地域の皆様など多くの方々に厚く御礼申し上げます。

それでは、第42回宇都宮短期大学祭をお楽しみください。



## 第42回 宇都宮短期大学祭

15日(土) 10:00-10:30 場所: 須賀友正記念ホール(2号館)

### ■オープニングセレモニー

司会 音楽科2年 田村 麻美

奏 楽・ファンファーレ

プラスバンドサークル

1. 開式の言葉 音楽科2年 印南有利恵
2. 学長あいさつ 学 長 須賀 英之
3. 実行委員長あいさつ 音楽科2年 藤栄 建吾
4. 表彰(テーマ・イラスト) 音楽科2年 柏當 健二
5. ミニ・コンサート フルート二重奏

出 演 崎谷 直先生 崎谷 美知恵先生(ピアノ) 長島 志穂さん

曲 目 1) ポストホルンセレナーデより

第3楽章「コンセルタンテ」モーツァルト

2) ハンガリアファンタジー K&Fドップラー

6. 宇短大祭ダンス 人間福祉学科ダンスサークル
7. 宇短大祭讃歌 参加者全員 指揮 田淵 進先生  
ピアノ 小林 康一先生
8. 閉式の言葉 音楽科2年 印南 有利恵  
奏 楽  
インフォメーション 人間福祉学科2年 小久保 綾子

16日(日) 16:00-16:30 場所: グラウンド

### ■エンディングセレモニー

司会 人間福祉学科2年 野上 斐香

1. 開式の言葉 人間福祉学科2年 星野 恵
2. 学長あいさつ 学 長 須賀 英之
3. 実行委員長あいさつ 人間福祉学科2年 安島 美樹
4. 宝くじ抽選 企画委員会
5. 閉式の言葉 人間福祉学科2年 柴 久美絵



〈チケットは完売いたしました〉

# 第42回 宇都宮短期大学祭 青島広志 おしゃべり コンサート

T.V.「世界一受けたい授業」や「題名のない音楽会」でおなじみの **宇短大に**

マルチ音楽家 **青島広志氏**がやってくる

共演 小野 勉氏 (テノール)

2008年 11月 15日 土

13:30 開場 14:00 開演

宇都宮短期大学 須賀友正記念ホール



音楽とおしゃべりでつなぐ  
「舞台音楽408年史」  
そのミラクル・ワールドは  
いらしてからの  
お楽しみ!

入場料 ¥1000 [全自由席]

チケット発売開始日 10月1日より

チケットは、下野新聞 プレイガイド (東武宇都宮百貨店2F、宇都宮バルコ1F)又は、宇都宮短期大学 事務局でお求めください。またFAX (裏面参照)で事務局へ申し込むこともできます。

## 宇短大祭

お待ちしております

11月15日(土)/16日(日)

10:00~16:00

宇都宮短期大学 音楽科・人間福祉学科



## 宇都宮短期大学祭 福祉公開講座 (ご案内)

宇都宮短期大学 地域福祉開発センター

日時 11月16日(日) 11時00分~12時30分

場所 宇都宮短期大学 多目的アリーナ

宇都宮市下荒針町長坂3829 ☎028-649-0511/FAX028-649-0660

演題 「スウェーデンの福祉事情~自立ケアの観点から~」

福祉先進国の最新事情や自立ケアの観点からスウェーデンの福祉施策について、日本語でわかりやすくお話しいただきます。

講師 スウェーデン・クオリティケア (Swedish Quality Care)

日本支社所長 ヨアキム・カウト (Joakim Kautto) 先生



1978年 スウェーデン生まれ

1998年 ドイツ (ベルリン) 留学 (障がい者学校で研修)

2000年 スウェーデン ヴェクショー大学で研究

(社会心理学と社会福祉士プログラム)

その後、国際基督教大学に交換留学生として来日

(「グループホーム職員のケアに関する日瑞比較研究」)

2005年 スウェーデン福祉研究所入社 (プロジェクトマネージャー)

2008年 スウェーデン・クオリティケア日本支社所長

### ★ スウェーデンクオリティケアとは?

スウェーデン・クオリティケアとは、スウェーデン外務省・スウェーデン大使館商務部と連携して、スウェーデンにおける大学、コミュニケーションや県・自治体、ケア企業、福祉用具企業などが共同で、そのノウハウや製品をもって世界に貢献するため設立された団体です。広く欧米をはじめ日本、韓国やその他のアジア諸国とのネットワークを通じてその活動を行なっていますが、日本とスウェーデン間ではケア職員相互の研修・人事交流などをおこなっています。また、スウェーデンにおけるケア理念を世界に広めるために、高齢者や障がい者、また児童のケアに関するサービス・教育について、日本の施設職員の方々に対してサポートしています。

さらに福祉器具などに関するアドバイスや製品についての情報を提供するなどの活動もしています。

### ★ なぜスウェーデンが福祉先進国といわれるのでしょうか?

スウェーデンが福祉先進国といわれる理由の一つに、高齢化するまでの年月が85年もかかった国だということがあります。ちなみに日本の場合、高齢化、つまり65歳以上の人口が、全人口の7%から14%になったのはわずか24年でした。

スウェーデンの高齢者福祉は、日本より60年以上も長い歴史が積み重ねられてきたこととなります。そこには、成熟した福祉社会の形をみることができます。